

【別添資料1】

クラスター形成の全体構想図

京都の特徴

○38の大学・短期大学 ⇒ 全国第1位
 ○138千人の学生数(大学・短大) ⇒ 人口の9.4%
 ⇒最先端の研究成果を創造・発信する大学等の存在

○2兆2000億円の製造品出荷額等 ⇒ 全国第12位
 ○最終製品に組み込まれる部材供給企業の集積
 ○伝統産業の集積(73品目) ⇒ 全国第1位
 ⇒伝統産業から先端産業まで技術力の高い企業集積

○京都議定書の採択の地として先進的な取組推進
 ○「環境モデル都市」へ立候補予定
 ○「京都産業エコ推進機構」の設置

クラスター形成の主な実績

○知的クラスター創成事業(第1期)
 ⇒産学公連携体制の構築, 事業化の推進など

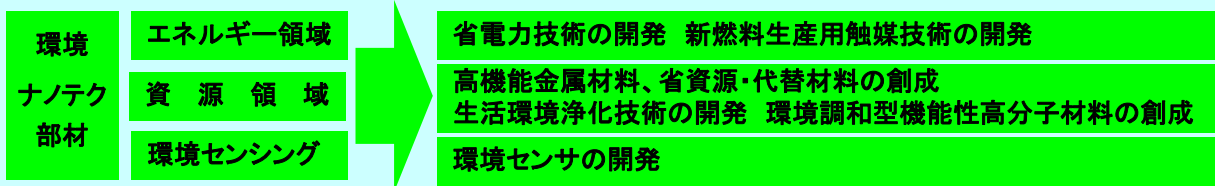
○京都地域での取組
 ◇桂イノベーションパーク構想の推進
 ◇京都市産業科学技術振興計画など戦略的推進
 ◇京都府中小企業応援条例など基盤強化
 ◇京都大学等によるナノテク支援, 人材育成など
 ◇京都産学公連携機構によるオール京都体制
 ○関西文化学術研究都市での取組
 ◇京都府地域結集型共同研究事業

京都の特性をいかした
地域クラスターの形成へ

知的クラスター創成事業が核となり
地域として一体感のある経済活動へ発展

京都環境ナノクラスター

第1期事業において整備したナノテクノロジー基盤を活用
 事業本部による統括のもと 大学・研究機関と企業との共同研究開発から事業化までを一体化し推進
 特定領域: 環境・ナノテクノロジー 事業内容: エネルギー・資源 事業化: 環境ナノテク部材



国際連携 京都環境ナノグローバル拠点化プロジェクト 京都環境ナノセンターの設立・運営など

事業化戦略 知財戦略 人材育成戦略

京都府・京都市
クラスター形成戦略会議

省資源・省エネルギーに資する
高機能部材の創製に特化集中

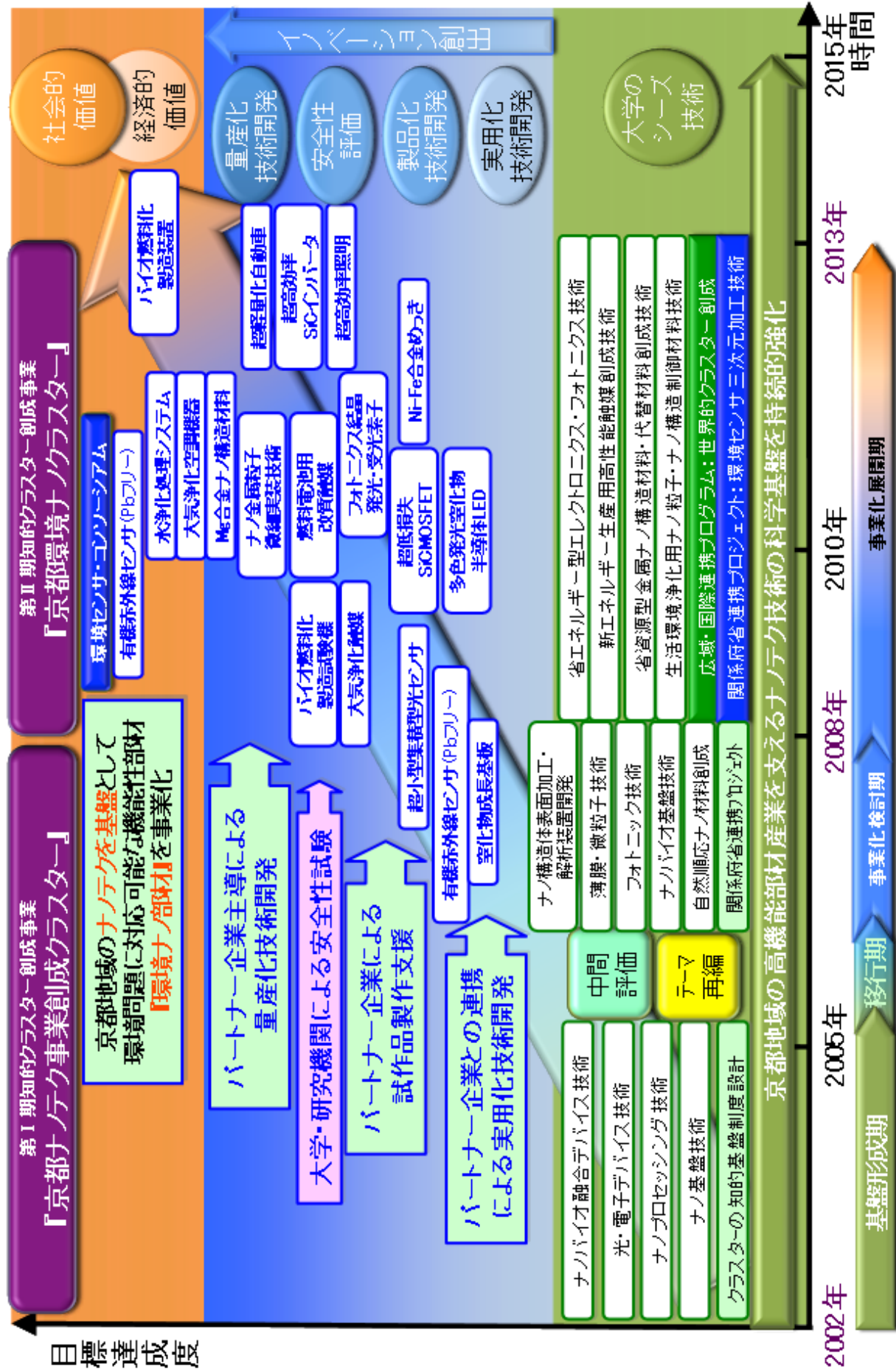
プラットフォーム
京都産業エコ推進機構

地域産業の振興
地球環境問題の解決へ貢献

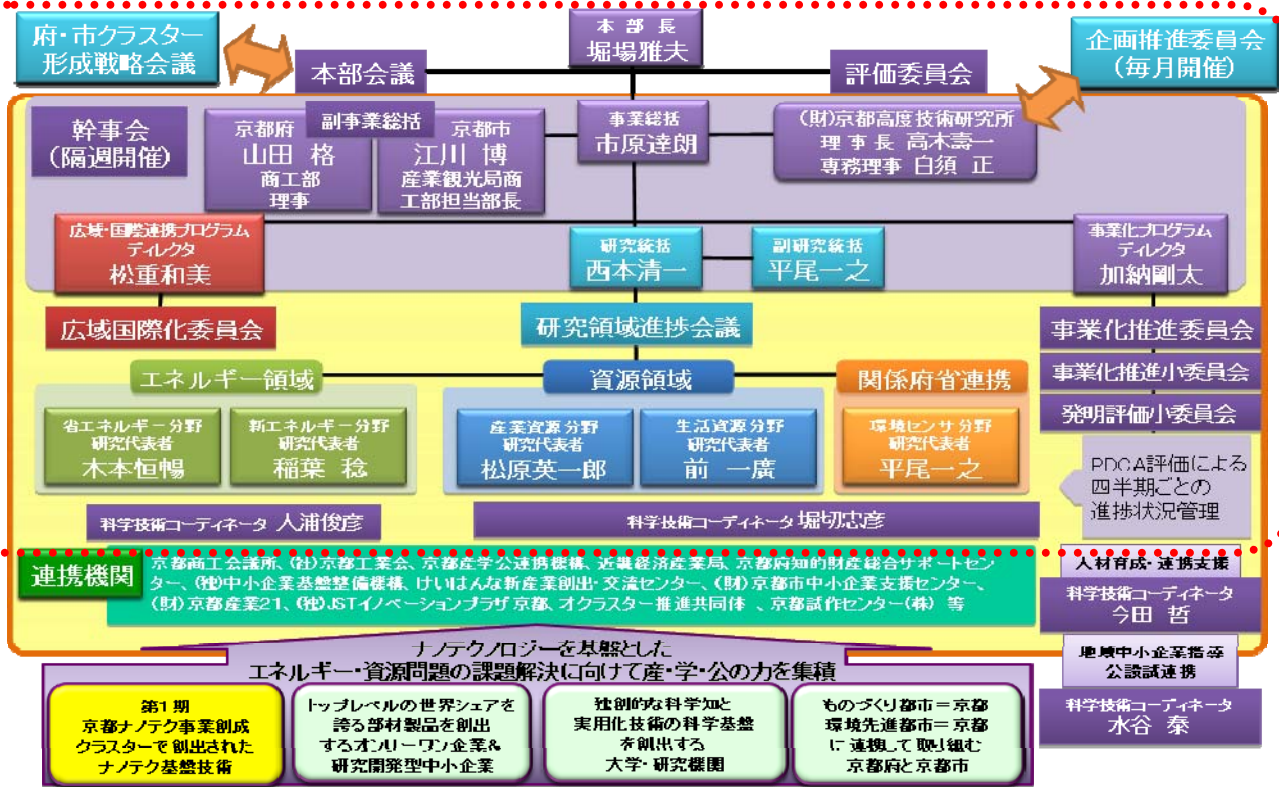
高機能部材産業の集積
～世界トップレベルの知的クラスターの形成～

5年後の主な目標

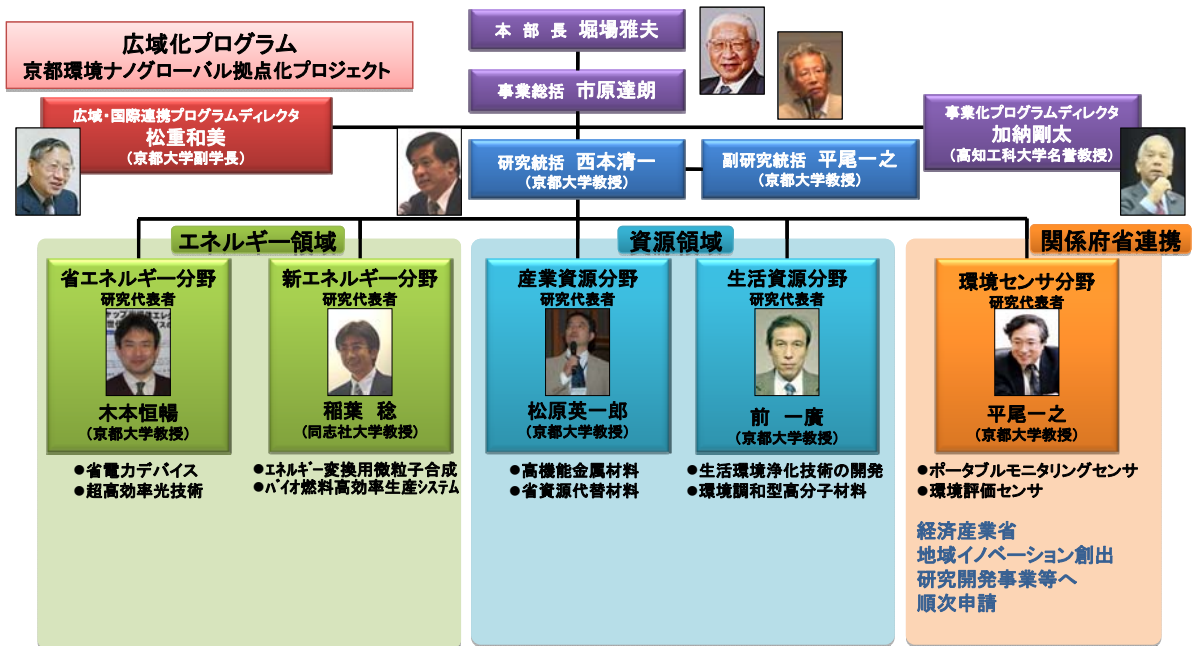
- 売上高 75億円
- 特許出願数 80件
- ベンチャー創出 10社
- KYO-NANO会 3,000名
- 他事業発展 50件
- 環境ナノ国際ビジネス
マッチング 26件



【別添資料3】
事業推進体制図

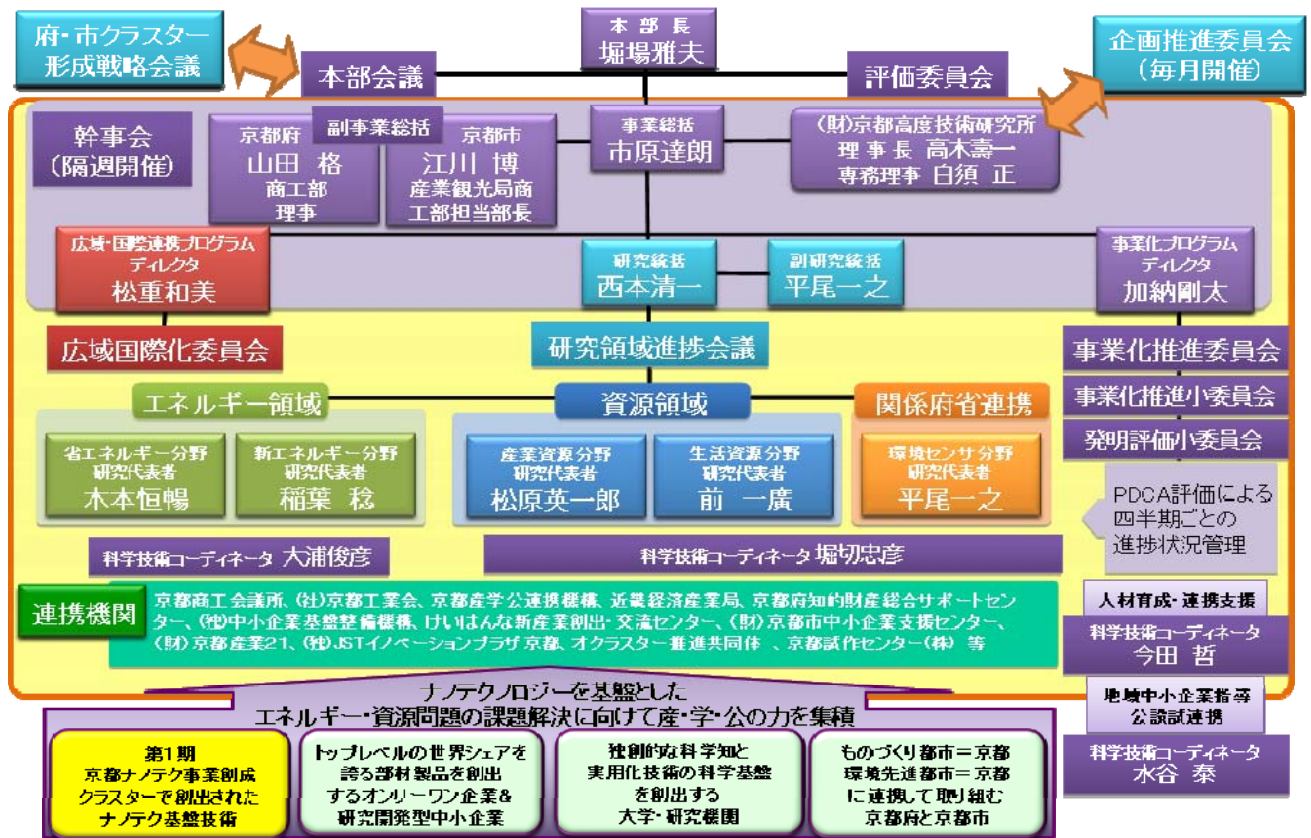


研究体制



【別添資料5】

1. 研究推進体制



2. 研究支援体制

知財はクラスター本部が一元管理し、大企業・地域がベンチャー・中小企業を育てるプログラムを実施
知財化の判断... 共同研究企業の事業化戦略
 企業にとっての価値を判断基準とし、特許化を大学 発明委員会へ推薦

